



国民春闘共闘

第26号

2018年3月26日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

JMITU

生活実態に目向けない低額回答に怒りの行動を 支部平均 5,679 円 組合員平均 6,603 円

JMITUは23日現在、119支部分会が有額回答を引き出し、支部分会平均で5,289円(2.06%)、組合員平均で6,603円(2.26%)となっています。昨年同時期比で組合員平均では799円上回っているものの、支部分会平均ではわずか195円増にとどまっています。JMITUは回答指定日翌日の8日、15日と二波の統一スト・統一行動を展開し、回答引き出しと上積み回答積み上げを追及し続けました。

産別団交、ストライキで追い上げへ

回答指定日以降、カシフジ支部(京滋)、日立建機ティエラ(大阪)で3次回答、超音波工業(東京西部)、カネテック(長野)、前田鉄工所(同)など22支部分会で2次、3次の上積み回答を引き出しています。

栃木・レオン自動機支部は、回答前日に「『56歳以上の賃上げなし』に根拠なし。



すべての社員に大幅賃上げを」の「朝ビラ」も配布して上積みを迫るなか、「全員にベア5,000円、平均14,700円(4.56%)」の第一次回答を引き出しました。東京西部・リオン支部は、昨年同時期を2,600円上回る10,000円(3%)を引き出しました。

継続雇用者や非正規雇用の要求では、栃木・栃木日本板硝子(賃上げ22,500円)、愛知・川本製作所(住宅手当15,000円)などに続き、東京セキスイ支部(埼玉)で「賃上げ4,000円」、通信産業本部では「4月以降、契約社員(シニア含)に通勤費実費相当を支給」を実現し、埼玉・アドバンテスト支部では「一時金を支給し今後は正社員と同様の制度にする」「年次有給休暇、残業割増」など正社員との均等待遇の要求で前進しました。アドバンテスト支部では、1,000円ですが初めてベースアップも実現しました。

回答には、労働者の生活や要求に誠意をもち応えているところがあるものの、全体として定昇程度で抑え込もうとする経営側の対応に変わりはありません。

JMITUは、あらためて生計費原則に立ち返り、「生活実態と意思を訴える一言メッセージ」や職場要請行動、ビラ配布など、全員参加で目に見える職場からの行動と、産別団交配置など産業別統

一闘争を強化します。東京東部地協では15日、小坂研究所支部と島崎製作所支部で産別団交。二次回等で6,800円(2.45%)にとどまる小坂研究所支部は、週明け26日(月)にもストライキを構えています。

<主な回答> 3月15日現在=速報=

ユニオン光学（東京北部）	①20,000
レオン自動機（栃木）	①14,700
前田製作所（長野）	②12,500
村松フルーツ（埼玉）	①11,424
リオ（東京西部）	①10,000
エマソン（埼玉）	① 9,898
ボッシュ・レックスロス（茨城）	① 9,187
川本製作所（愛知）	② 9,000
カシフジ（京滋）	② 8,650
大興電子通信（東京西部）	① 8,433
南千住エンジニア（東京東部）	① 8,000
超音波工業（東京西部）	② 7,584

※①一次回答、②二次回答



全国統一闘争推進会議を開催

18春闘・全国統一闘争推進会議をおこないました。会議には中央執行委員や各本部・地協の役員など30人余が参加し、笠瀬書記長が回答の特徴と闘争強化について提起。昨年と同水準の初回回答をどうみるのかについて、「各企業ともに様子見の回答をしてきているが、我々の側も様子見になってはいないか」との問題提起を踏まえ、①要求に立ち返り、怒りをもって職場のたたかいと産別団交など産別のたたかいにしていくこと、②産別が支部・分会に援助に入りスト・職場集会、ビラづくりなど援助していくこと、③「一言メッセージ」や職場要請行動など経営者に迫る職場からのたたかいをつくること、④組織拡大・組織強化の力で要求をかちとることなど、闘争強化を意思統一しました。

現在の回答を見る限り、政府が財界に要請した「3%賃上げ」は、「賃上げは上限でも3%」という「春闘抑え込み」策でしかないことがいよいよ明らかとなりました。JMITUは、労働者の生活をかえりみない超低額回答に対し、怒りをもって職場と産別のたたかいを強化していきます。

**安倍9条改憲・労働法制改悪NO！
賃上げと安定雇用で地域活性化！**